

# オンプレミス導入環境内からデバイスを登録するには、どうすればよいですか。

## 内容

---

外部のお客様/パートナー様専用：これらの手順は、お客様/パートナー様が問題を解決するために次のアクションを実施する際に役立ちます。この手順に従ってお客様やパートナーで問題が発生した場合は、ライセンスサポート(<https://www.cisco.com/go/scm>)でサービスリクエストをオープンして解決してください。

## ビデオ

このコンテンツの目的は、教育用または情報用の情報を共有することです。ビデオを見るか、以下のコンテンツを読むかを選択できます。どちらも同じ内容であるため、好きな形式で自由に操作できます。

## 前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- シスコスマートアカウント
- スマートアカウントまたは仮想アカウントにアクセスできる有効なCCOユーザIDとパスワード。
- SSMオンプレミスへの管理者アクセス

---

注：ライセンスサポートチーム以外の社内シスコリソースを使用している場合は、これらのアクションを自分で実行しないでください。

---

## 手順

### SLデバイスのオンプレミスへの登録

ステップ1：デバイスを登録するには、まずオンプレミスでトークンを作成します。詳細については、以下のリンクを参照してください。

[デバイスをスマートアカウントに登録するトークンを作成するにはどうすればよいですか。](#)

ステップ2：スマート対応製品のインスタンスは、製品によって異なるため、CLIまたはGUIを使用したSSM OnPremへの登録方法が異なります。SSMオンプレミスと通信するように製品インスタンスを構成する詳細な手順については、製品のドキュメントを参照してください。

ステップ3：デバイスを設定したら、「Ping」コマンドを使用して（該当する場合）、OnPrem

## SSMとのデバイスの接続を確認します

ステップ4: 「license smart register idtoken <paste the token generated from step 1 above>」を実行します ( GUIベースの製品の場合は、製品インストールガイドを参照してトークンを使用してデバイスを登録します )。

ステップ5: show license allコマンドを使用して登録ステータスを確認します ( 該当する場合 )。

ステップの結果: 「登録」列に、登録のステータスが「登録済み」と表示されます。

## SLPベースのデバイスをSSM OnPremに登録

ステップ1: ポリシー対応製品インスタンスを使用するスマートライセンスは、製品によって異なるため、CLIまたはGUIを使用したSSM OnPremへの登録方法が異なります。SSMオンプレミスと通信するように製品インスタンスを構成する詳細な手順については、製品のドキュメントを参照してください。

ステップ2: トランスポートURLの取得 ( SSMオンプレミスGUIから )

ステップ2A: SSMオンプレミスにログインし、Smart Licensingワークスペースを選択します。

ステップ2B: Inventoryタブに移動し、ローカル仮想アカウントのドロップダウンリスト ( 右上隅 ) から、デフォルトのローカル仮想アカウントを選択します。この操作を行うと、[インベントリ]タブの下の領域に[ローカル仮想アカウント: デフォルト]と表示されます。

ステップ2C: Generalタブに移動します。

「製品インスタンス登録トークン」領域が表示されます。

ステップ2D: Product Instance Registration Tokens領域で、CSLU Transport URLをクリックします。

ステップ結果: 「製品登録URL」ポップアップ・ウィンドウが表示されます。

ステップ2E: URL全体をコピーし、アクセス可能な場所に保存します。製品インスタンスでトランスポートタイプとURLを設定する場合は、URLが必要です。

ステップ2F: トランスポートタイプとURLを設定します。関連項目: [トランスポート・タイプ、URLおよびレポート間隔の設定 \( 『設定ガイド』を参照 \)](#)

## 使用状況の初期同期

タスクの実行場所: 製品インスタンス、SSMオンプレミス、CSSM

a. 製品インスタンスをオンプレミスのSSMと同期させます。

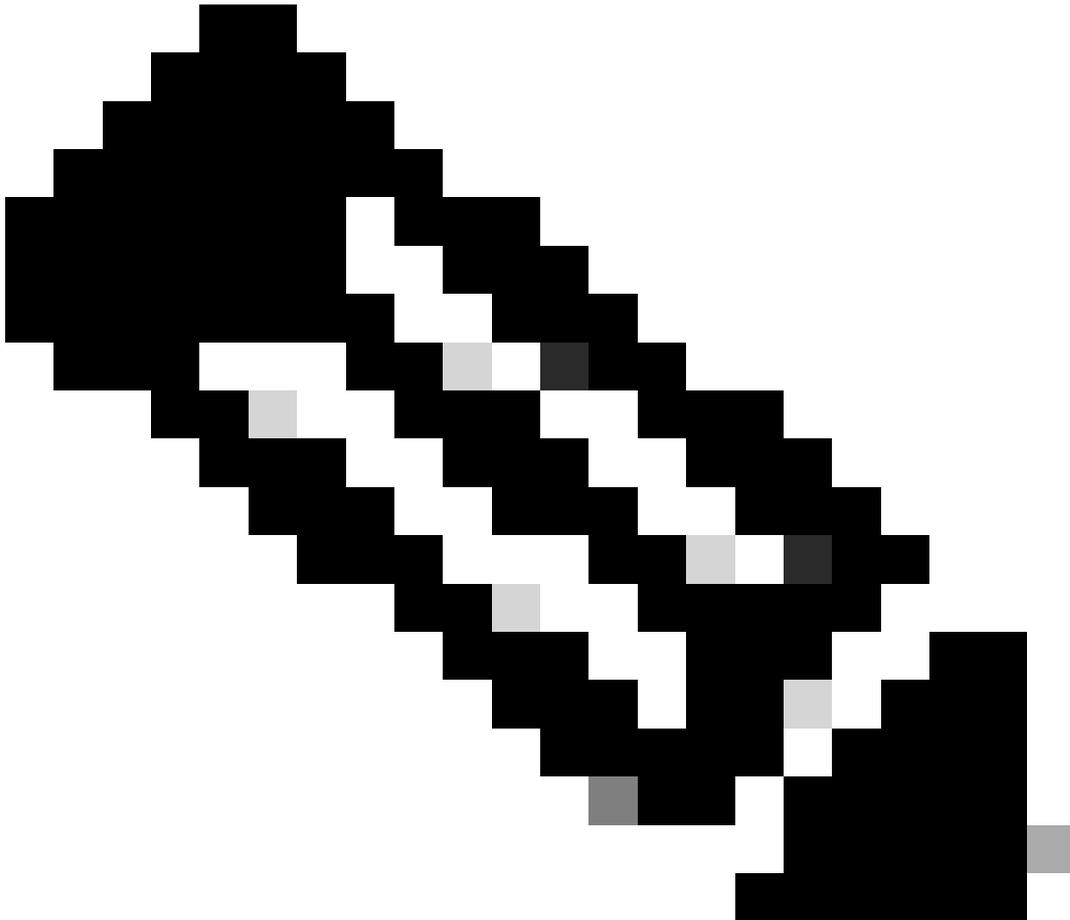
製品インスタンスで、特権EXECモードでlicense smart sync {all| local}コマンドを入力します。これにより、製品インスタンスがSSMオンプレミスと同期され、保留中のデータが送受信されます。例:

```
Device# license smart sync local
```

製品インスタンスでユーティリティモードが有効になっている場合、製品インスタンスからSSMオンプレミスに送信されるRUMレポートには、それに応じてフラグが付けられます。

これは、SSMオンプレミスUIで確認できます。ログインして、Smart Licensingワークスペースを選択します。「在庫」>「ポリシーを使用したSL」タブにナビゲートします。対応する製品インスタンスの[アラート]列に、「製品インスタンスの使用状況レポート」というメッセージが表示されます。

---



注：上記の手順2（製品インスタンスの追加と検証）を実行していない場合、このサブステップを完了すると、製品インスタンスがSSMオンプレミスデータベースに追加されません。

---

使用状況情報をCSSMと同期します。

この操作を実行するには、「[オンプレミス導入で同期を実行する方法は？](#)」をクリックします。

ステップ結果：使用状況の初期同期が完了しました。製品インスタンスとライセンスの使用状況

の情報がSSMオンプレミスに表示されるようになりました。

## トラブルシューティング

Q:デバイスがUSAGEレポートをSSM On-Prem/CSLUに送信する時間間隔はどのくらいですか。

デバイスは、デフォルトの時間間隔として、USAGEレポートを30日ごとにSSMオンプレミス/CSLUアプリケーションに送信します。ただし、デバイスですべてのコマンドを実行するlicense smart syncを使用して、デバイスからSSM OnPrem/CSLUにレポートを送信することもできます。

このプロセスで対処できない問題が発生した場合は、ソフトウェアライセンスオプションを使用して、[Support Case Manager\(SCM\)](#)でケースをオープンしてください。

このドキュメントの内容についてのフィードバックは、[ここ](#)を参照してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。